

社会福祉法人 東京都社会福祉事業団
令和2年度臨時評議員会議事録

1 招集年月日

社会福祉法第45条の9第10項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第183条に基づき招集の手続を省略

2 開催日時

令和3年3月30日（火曜日） 午前9時56分から午前11時25分まで

3 開催場所

社会福祉法人東京都社会福祉事業団事務局第一会議室

4 出席者

(1) 評議員総数 9名

出席評議員 7名

評議員 矢野 聡

評議員 平井 寛

評議員 山下 望

評議員 中島 隆

評議員 岡橋 生幸

評議員 内藤 治男

評議員 福島 民雄

(2) 出席理事及び監事

理事長 池田 俊明

業務執行理事 渋谷 恵美

監事 齊藤 一紀

5 議長

評議員 中島 隆

6 議事録作成者

評議員 中島 隆

7 議題

(1) 決議事項

第1号議案 理事の選任（案）について

(2) 報告事項

ア 令和3年度事業計画について

イ 令和3年度予算について

※ 以下の「8 議事の経過の要領及びその結果」における発言者は「出席者」と表記している。(理事長、業務執行理事及び監事の職責としての発言をした場合の監事を除く。)

8 議事の経過の要領及びその結果

(1) 第1号議案 理事の選任（案）について

議長の求めに応じ、渋谷業務執行理事から、議案書に従い説明があった。

その後、議長が質問・意見を募ったところ、次の意見があった。

- 山下評議員から、候補者の経歴の表示について意見があった。

質疑応答の後、候補者ごとに決議を行った結果、全員の賛成により、以下の者が選任された。

理事 岩井志奈

理事 林直樹

(2) 報告事項

報告事項について、渋谷業務執行理事及び事務局が、あらかじめ配付している「令和2年度 臨時評議員会 報告事項」、「令和3年度事業計画書」、「令和3年度予算書」及び「令和3年度予算増減説明」により、説明を行った。

その後、議長が質問・意見を募ったところ、次の質問・意見があった。

- 出席者から、実習生を採用に結びつける取組について質問があり、事務局から、実習生の採用方法の工夫について回答があった。
- 出席者から、採用と離職状況等について質問があり、事務局から、令和3年4月の採用予定者数及び欠員状況、並びに離職率等について回答があった。
- 出席者から、事業団の処遇改善の取組や公的役割を広報していくと良いとの意見があり、事務局から、宿舍の借り上げや奨学金返済制度について説明があった。
- 出席者から、今後、障害者施設において重度化することによるリスクがあり、事業団本部としてもそうした観点で取り組んでもらいたいとの意見があり、渋谷業務執行理事から、東京都とも協議をしながら対応していくとの説明があった。
- 出席者から、都派遣職員と事業団の正規職員との関係について質問があり、事務局から、状況について回答があった。
- 出席者から、苦情解決制度に関し、事務局における把握状況について質問があり、渋谷業務執行理事から、事務局での把握状況について回答があった。さらに、出席者から、IT活用の検討について意見があり、渋谷業務執行理事から、IT関連機器の導入状況について説明があった。

- 主席者から、連携型専門ケアモデル事業に関連して、学校との連携について意見があり、渋谷業務執行理事から、モデル事業の状況について説明があった。
- 出席者から、連携型専門ケアモデル事業に関連して、課題や今後の見直しの必要性について意見があった。
- 出席者から、学校の先生に、養護施設にいる子たちの心の寂しさなどを分かってもらおうよう、連携をお願いしたいとの意見があった。
- 出席者から、第三者評価結果のコメントの違いについて質問があり、渋谷業務執行理事から、評価機関の選定方法などについて回答があった。
- 池田理事長から、採用に関する取組について説明があった。また、離職防止についても、来年度もしっかり取り組んでいく旨、発言があった。
- 出席者から、退職する都派遣のベテラン職員のノウハウを残してもらう工夫について、意見があった。

以上、議長は議事がすべて終了した旨を告げ、午前11時25分に閉会した。